

「救急安心センターおおさか」に関するアンケート調査（結果）

1 調査概要

救急安心センターおおさかは、大阪府内全域の住民を対象として事業を実施していますが、利用された方の有用度（満足度）や、利用後の意識等について調査することにより、今後における当該事業の円滑な事業運営に必要な施策等の検討資料とする目的で実施したものです。

2 調査対象

大阪府内在住の方で、救急安心センターおおさかを利用したことがある方 1,000 標本（大阪市内在住の方 500 標本、大阪市以外在住の方 500 標本）。

なお、大阪市以外在住の方（500 標本）の割付けについては、次表のとおり各市町村の人口分布割合に基づいて按分したものです。

	希望 標本数	獲得 標本数	地域
全体	1,000	1,000	大阪府全域
大阪市	500	500	大阪市
北エリア	147	147	豊中市・池田市・吹田市・高槻市・茨木市・箕面市 摂津市・島本町・豊能町・能勢町
東エリア	157	157	守口市・枚方市・八尾市・寝屋川市・東大阪市 大東市・門真市・四條畷市・交野市
中エリア	55	55	富田林市・河内長野市・松原市・柏原市・羽曳野市 藤井寺市・大阪狭山市・太子町・河南町・千原赤阪村
南エリア	141	141	堺市・岸和田市・泉大津市・貝塚市・泉佐野市・和泉市 高石市・泉南市・阪南市・忠岡町・熊取町・田尻町・岬町

3 調査期間

令和2年2月21日から令和2年2月25日

4 調査実施機関

楽天インサイト株式会社

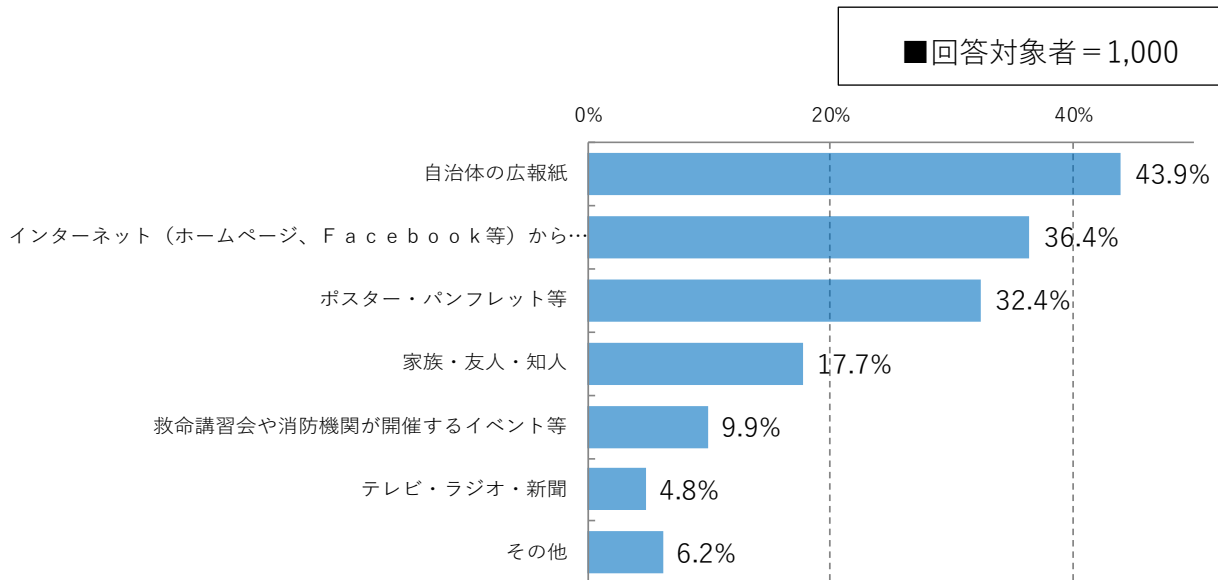
5 調査方法

インターネットを利用したウェブアンケート調査

「救急安心センターおおさか」に関するアンケート意識調査結果(詳細)

Q1 救急安心センターおおさかは、何を通じて知りましたか？

次の中からあてはまるものをすべてお選びください。(複数回答可)



回答者	自治体の広報紙	インターネット (ホームページ、 Facebook等) から の情報	ポスター・パンフ レット等	家族・友人・知人	救命講習会や消防 機関が開催するイ ベント等	テレビ・ラジオ・ 新聞	その他	
全 体	1,000 (100.0%)	439 (43.9%)	364 (36.4%)	324 (32.4%)	177 (17.7%)	99 (9.9%)	48 (4.8%)	62 (6.2%)
大阪市	500 (100.0%)	216 (43.2%)	189 (37.8%)	153 (30.6%)	92 (18.4%)	43 (8.6%)	28 (5.6%)	28 (5.6%)
北エリア	147 (100.0%)	63 (42.9%)	54 (36.7%)	48 (32.7%)	16 (10.9%)	16 (10.9%)	6 (4.1%)	9 (6.1%)
東エリア	157 (100.0%)	75 (47.8%)	61 (38.9%)	56 (35.7%)	35 (22.3%)	18 (11.5%)	7 (4.5%)	13 (8.3%)
中エリア	55 (100.0%)	24 (43.6%)	18 (32.7%)	13 (23.6%)	7 (12.7%)	11 (20.0%)	1 (1.8%)	6 (10.9%)
南エリア	141 (100.0%)	61 (43.3%)	42 (29.8%)	54 (38.3%)	27 (19.1%)	11 (7.8%)	6 (4.3%)	6 (4.3%)

【全体的な傾向】

広報媒体としては「自治体の広報誌」が最も多く全体の43.9%、「ポスター・パンフレット等」が32.4%と当該事業を紙媒体で認知した方が全体の76.3%を占めるという結果となりました。

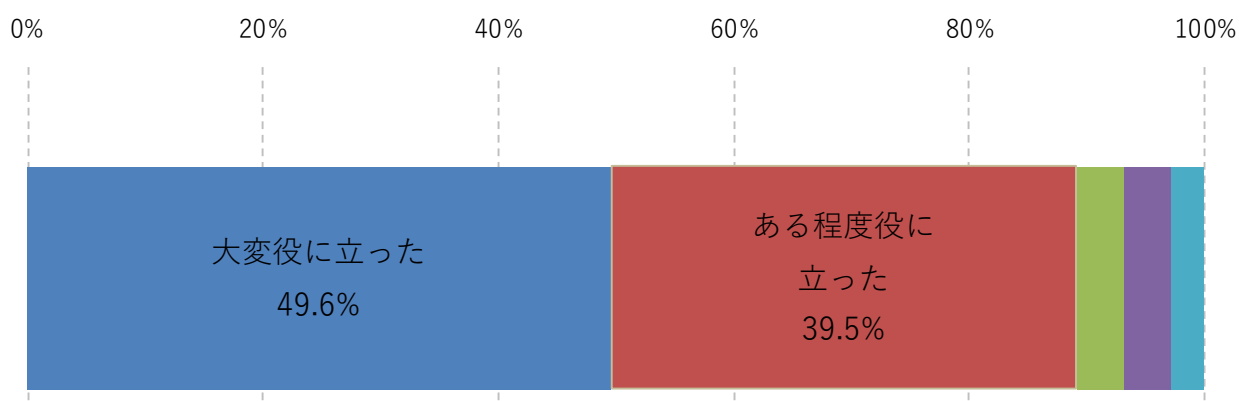
また、インターネット(ホームページ、Facebook等)からの情報により認知した方は36.4%と2番目に多い結果となりました。

Q2 救急安心センターおおさかは、役に立ちましたか？

次の中からあてはまるものをお選びください。

※複数回利用したことがある方は、総合的に役に立ったかどうかをお答えください。

■回答対象者 = 1,000



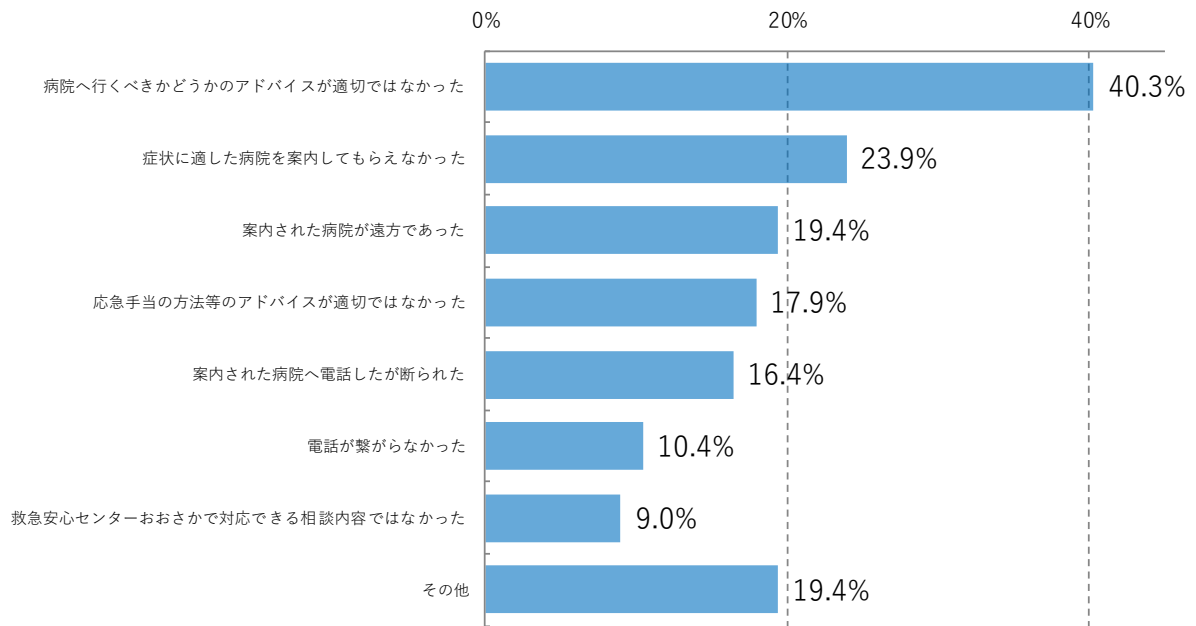
		回答者	大変役に立った	ある程度役に立った	どちらでもない	あまり役に立たなかった	全然役に立たなかった
全体		1,000 (100.0%)	496 (49.6%)	395 (39.5%)	42 (4.2%)	38 (3.8%)	29 (2.9%)
エリア	大阪市	500 (100.0%)	252 (50.4%)	191 (38.2%)	20 (4.0%)	19 (3.8%)	18 (3.6%)
	北エリア	147 (100.0%)	72 (49.0%)	56 (38.1%)	8 (5.4%)	7 (4.8%)	4 (2.7%)
	東エリア	157 (100.0%)	76 (48.4%)	69 (43.9%)	4 (2.5%)	5 (3.2%)	3 (1.9%)
	中エリア	55 (100.0%)	30 (54.5%)	17 (30.9%)	2 (3.6%)	5 (9.1%)	1 (1.8%)
	南エリア	141 (100.0%)	66 (46.8%)	62 (44.0%)	8 (5.7%)	2 (1.4%)	3 (2.1%)

【全体的な傾向】

「大変役に立った」「ある程度役に立った」の合計が89.1%を占めるという結果となりました。

Q3 前問で「あまり役に立たなかった」又は「全然役に立たなかった」と回答された方にお聞きします。その理由は何ですか？次の中からあてはまるものをすべてお選びください。（複数回答可）

■回答対象者 = 67



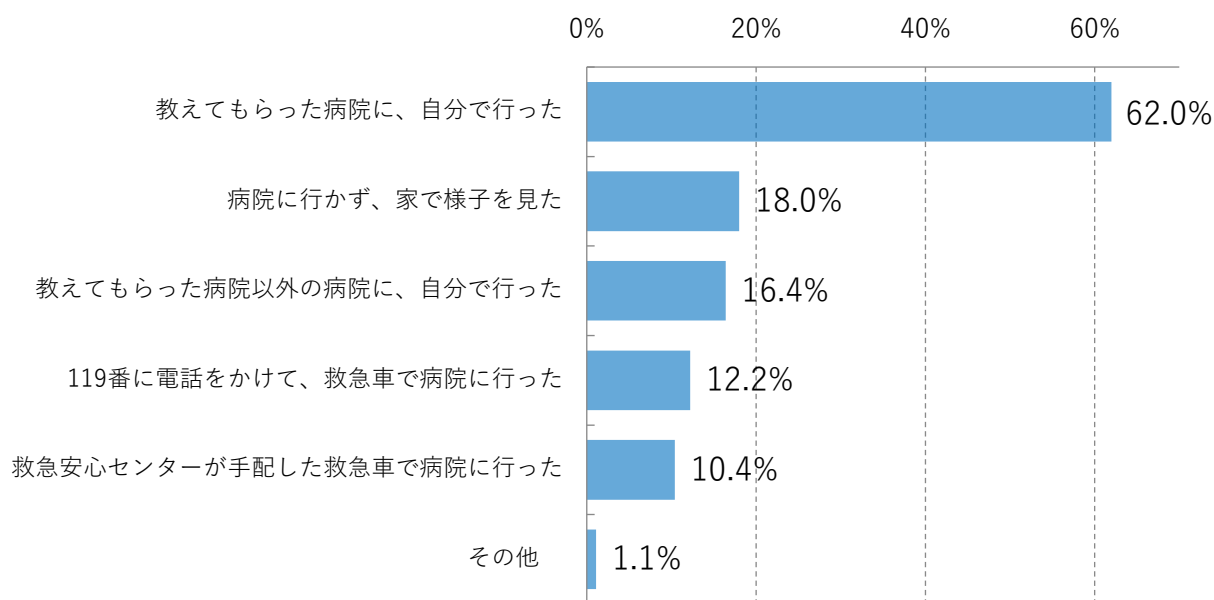
回答者		病院へ行くべきかどうかのアドバイスが適切ではなかった	症状に適した病院を案内してもらえなかった	案内された病院が遠方であった	応急手当の方法等のアドバイスが適切ではなかった	案内された病院へ電話したが断られた	電話が繋がらなかった	救急安心センターおおさかに対応できる相談内容ではなかった	その他
全体	67 (100.0%)	27 (40.3%)	16 (23.9%)	13 (19.4%)	12 (17.9%)	11 (16.4%)	7 (10.4%)	6 (9.0%)	13 (19.4%)
大阪市	37 (100.0%)	19 (51.4%)	11 (29.7%)	8 (21.6%)	7 (18.9%)	1 (2.7%)	3 (8.1%)	4 (10.8%)	8 (21.6%)
北エリア	11 (100.0%)	4 (36.4%)	1 (9.1%)	2 (18.2%)	2 (18.2%)	3 (27.3%)	2 (18.2%)	0 (0.0%)	3 (27.3%)
東エリア	8 (100.0%)	1 (12.5%)	1 (12.5%)	1 (12.5%)	2 (25.0%)	3 (37.5%)	1 (12.5%)	1 (12.5%)	1 (12.5%)
中エリア	6 (100.0%)	2 (33.3%)	2 (33.3%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)	2 (33.3%)	0 (0.0%)	1 (16.7%)	1 (16.7%)
南エリア	5 (100.0%)	1 (20.0%)	1 (20.0%)	1 (20.0%)	1 (20.0%)	2 (40.0%)	1 (20.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

【全体的な傾向】

「病院へ行くべきかどうかのアドバイスが適切ではなかった」が最も多く全体の40.3%を占める結果となりました。

Q 4 救急安心センターおおさかで相談後、どうされましたか。(複数回答可)

■回答対象者 = 1,000

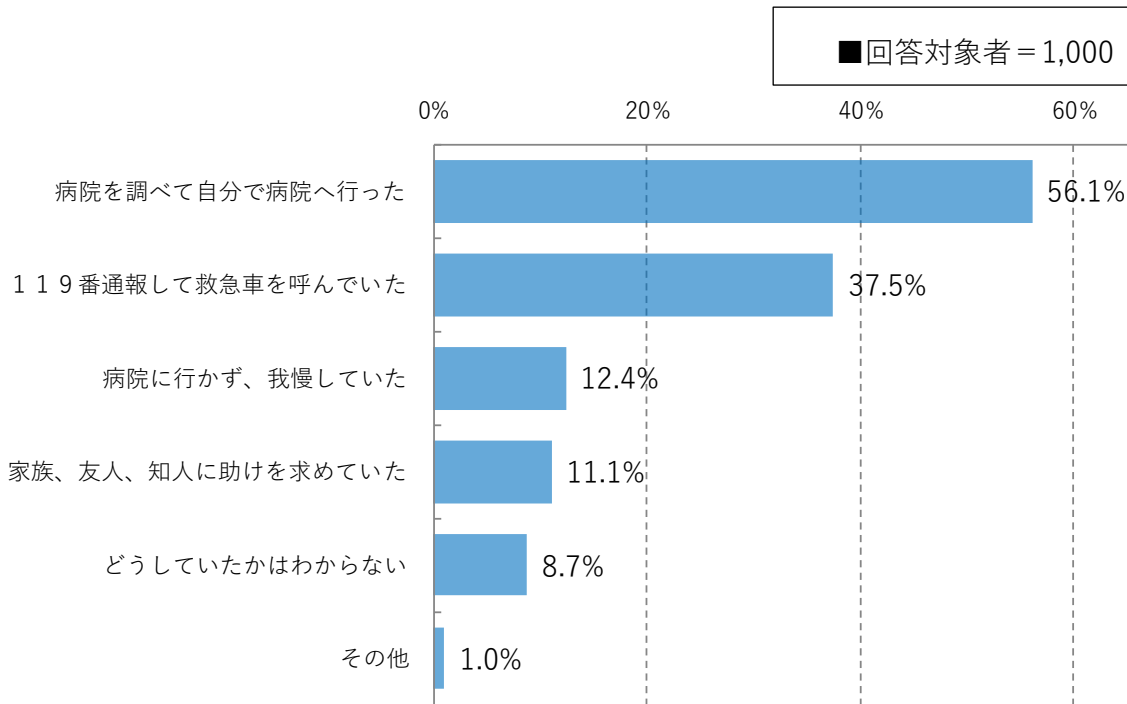


	回答者	教えてもらった病院に、自分で行った	病院に行かず、家で様子を見た	教えてもらった病院以外の病院に、自分で行った	119番に電話をかけて、救急車で病院に行った	救急安心センターが手配した救急車で病院に行った	その他
全体	1,000 (100.0%)	620 (62.0%)	180 (18.0%)	164 (16.4%)	122 (12.2%)	104 (10.4%)	11 (1.1%)
大阪市	500 (100.0%)	318 (63.6%)	108 (21.6%)	68 (13.6%)	57 (11.4%)	43 (8.6%)	4 (0.8%)
北エリア	147 (100.0%)	79 (53.7%)	17 (11.6%)	32 (21.8%)	17 (11.6%)	19 (12.9%)	4 (2.7%)
東エリア	157 (100.0%)	104 (66.2%)	25 (15.9%)	29 (18.5%)	22 (14.0%)	19 (12.1%)	1 (0.6%)
中エリア	55 (100.0%)	35 (63.6%)	6 (10.9%)	13 (23.6%)	10 (18.2%)	6 (10.9%)	0 (0.0%)
南エリア	141 (100.0%)	84 (59.6%)	24 (17.0%)	22 (15.6%)	16 (11.3%)	17 (12.1%)	2 (1.4%)

【全体的な傾向】

「教えてもらった病院に、自分で行った」という方が、62.0%、「病院に行かず、家で様子を見た」という方が2番目で18.0%との結果となりました。

Q 5 救急安心センターおおさがなかったら、その時どうしていたと思いますか？
次の中からあてはまるものをすべてお選びください。（複数回答可）



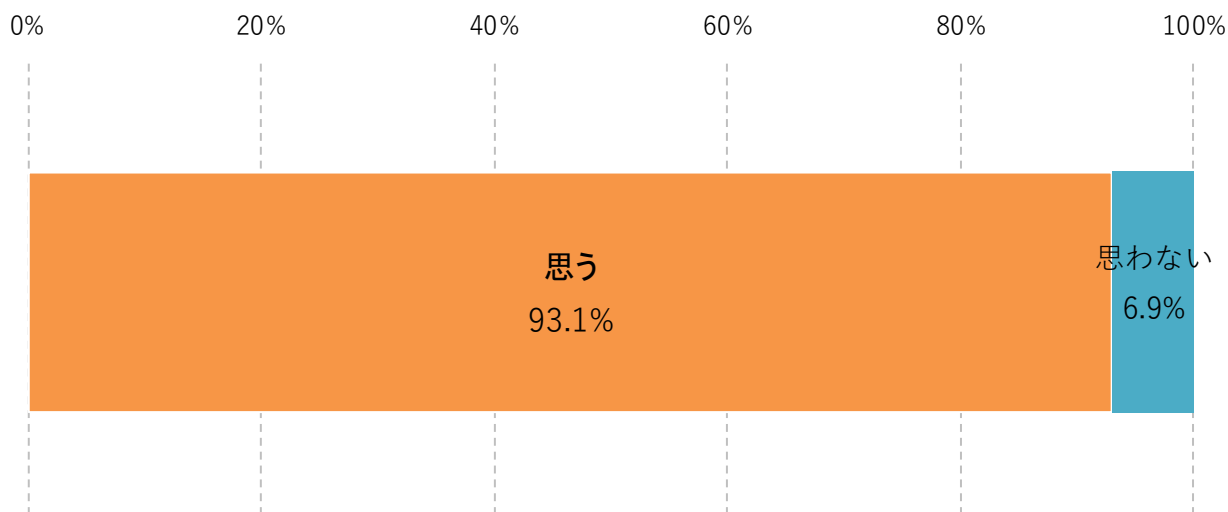
	回答者	病院を調べて自分で病院へ行った	119番通報して救急車を呼んでいた	病院に行かず、我慢していた	家族、友人、知人に助けを求めていた	どうしていたかはわからない	その他
全体	1,000 (100.0%)	561 (56.1%)	375 (37.5%)	124 (12.4%)	111 (11.1%)	87 (8.7%)	10 (1.0%)
大阪市	500 (100.0%)	274 (54.8%)	201 (40.2%)	61 (12.2%)	47 (9.4%)	48 (9.6%)	6 (1.2%)
北エリア	147 (100.0%)	86 (58.5%)	45 (30.6%)	16 (10.9%)	20 (13.6%)	10 (6.8%)	0 (0.0%)
東エリア	157 (100.0%)	94 (59.9%)	54 (34.4%)	18 (11.5%)	21 (13.4%)	10 (6.4%)	2 (1.3%)
中エリア	55 (100.0%)	35 (63.6%)	21 (38.2%)	10 (18.2%)	7 (12.7%)	2 (3.6%)	0 (0.0%)
南エリア	141 (100.0%)	72 (51.1%)	54 (38.3%)	19 (13.5%)	16 (11.3%)	17 (12.1%)	2 (1.4%)

【全体的な傾向】

「病院を調べて自分で病院へ行った」が最も多く全体の56.1%、次いで「119番通報して救急車を呼んでいた」が全体の37.5%という結果になりました。

Q 6 今後も救急安心センターおおさかを利用しようと思いますか？
次の中からあてはまるものをお選びください。

■回答対象者 = 1,000



		回答者	思 う	思 わない
全 体		1,000 (100.0%)	931 (93.1%)	69 (6.9%)
	大阪市	500 (100.0%)	463 (92.6%)	37 (7.4%)
	北エリア	147 (100.0%)	136 (92.5%)	11 (7.5%)
	東エリア	157 (100.0%)	149 (94.9%)	8 (5.1%)
	中エリア	55 (100.0%)	49 (89.1%)	6 (10.9%)
	南エリア	141 (100.0%)	134 (95.0%)	7 (5.0%)

【全体的な傾向】

「思う」と回答された方が、全体の93.1%を占めるという結果となりました。